

## 昭和興産(上海)貿易有限公司

昭和興産



雷国光 総経理  
董事

# 売上高50億円達成に邁進

2023年に創立80周年を迎える昭和興産。節目の年を最終年度とする3カ年中期経営計画が今年始動した。計画の中で、「海外関連ビジネスの強化」はグループの最重要テーマとして位置付けられており、中国拠点

は新規商材の開拓とその輸出、ローカル企業を含む現地マーケットへの拡販の両面で海外ビジネス拡大の牽引役を期待されている。

中国の現地法人、昭和興産(上海)貿易は03年12月の設立で、樹脂原料および樹脂をはじめ、食品や家庭用品関連など幅広く商材を取り扱ってきた。20年は年初中途業績が落ち込んだが、4月以降は自動車市場の回復などにあわせて樹脂添加剤事業が盛り返し、第5世代通信(5G)関連材料なども業績を支えるなど、通年では19年並みの収益を確保した。

今期始動した3カ年の新中計

では、設立当初に取得した危険化学品の経営許可を有する強みなども生かし、中国の有力メーカーの製品を日本やタイ、インドネシアへの輸出をさらに拡大する。また、米中テカップリングなどの変化を商機と捉え、中国からベトナムやタイへの企業移転をグループ拠点と連携してフォローしていく考え。

注力分野に掲げる電子材料では18年春に連絡事務所から分公司に格上げた広州拠点にこのほど電子材料関連を専門とする日本人駐在員を増員。華南地区において、自動車やスマートフォンなど向けの樹脂コンパウンドや機能性フィルム、精密洗浄剤などの扱いを拡大していく。3～5年で上海と肩を並べる事業規模に引き上げたい考えだ。



重点分野では電気自動車(EV)向けの電池材料や有機EL(OLED)、食品添加剤、生分解性樹脂などで新規の取り扱いを増やしていく。23年は上海拠点設立20周年の年にもあたる。昭和興産(上海)貿易有限公司の雷国光董事長総経理は次期中計で成長を加速し、25年には売上高50億円の達成を目指す」と意欲を語る。

上海市長寧区遵義路100号南豊城A幢2205-06室 電話+86-21-6235-1028